

2022/03/14 (月)

朝の礼拝

聖書 コリントの信徒への手紙 I 3章 6-7節 (新約聖書302頁)

わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神です。ですから、大切なのは、植える者でも水を注ぐ者でもなく、成長させてくださる神です。

心の成長

すべての命は神様から授かった賜物です。生まれたばかりの赤ちゃんは飲むのも、食べるのも自分で選び、作り、飲んだり食べたりできません。もちろん渋い顔をしたり、吐き出したり、泣いたりしますが、好き嫌いは言えません。

お父さん、お母さんが用意したものを黙って、何も疑わずに飲み食べさせてもらうのです。赤ちゃんの成長にはお父さん、お母さんの愛情と赤ちゃんの成長への願いが込められています。命はお父さん、お母さん、周囲の人たちに支えられるのです。

保育園、幼稚園、小学校、また中学校と進み、皆さんは段々と好き嫌いや偏食ができますが、身体は大人に成長していきます。そして知識や技能も増して、友だちとの出会いや関わり、その喜びも悲しみも、すべてを通して感受性や想像力が育まれます。

そして私たちは毎朝、聖書と讃美歌を通して神の愛という糧を与えられています。私たちは神様の赤ちゃんです。この一年も聖書、讃美歌を心の糧として味わい、互いを慰め、励ます栄養として与えられ、気がつかないうちに心も成長させていただきました。

しばらく黙祷しましょう。

すべてのものに命を与え、成長させてくださる神様、英和女学院の一学年の終わりが近づいてきました。どうかこの一年の自らの成長をふり返り、神様の恵みと導きに思いを寄せ、新たな思いをもって新しい年を迎えられように導いてください。また日本で、世界で困難な生活を強いられている人々、特に愛する祖国、友人、家族を守る人々、特にウクライナ、ロシアの人々が共に平和を愛する心で満たされ、離散させられた家族、幼い子どもたちに平和な日々がひと時でも早く戻りますようにお導きください。今日一日もすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン